

事業番号	05 08 07	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域生活支援事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・室	障がい者支援課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-2 生き生きと安心して暮らせる社会づくり 2 障がい者支援の充実			実施期間	H18 ~	

1 事業の概要

目指す姿	障害者総合支援法に基づき、障がい者等が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう各種事業を効率的・効果的に実施する。		
現状	○県事業としては、主にコミュニケーション支援を目的とした5事業を実施し、障がい者等の支援を行っている。 ○市町村事業は、全市町村が実施しており、その事業費は増加傾向にあり多様なニーズに対応した事業が実施されている。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】	障害者総合支援法第77条及び第78条
	県民との協働による実施：困難		

事業内容

① 成果目標(H25)

○県事業：視覚及び聴覚障がい者等に対して支援を行い、社会生活の促進を図る。
(手話通訳者設置数：10人 補助犬利用者数：28人 盲ろう者支援事業利用者数：6人 音声機能障がい者発声訓練参加者：1,900人)
○市町村事業：市町村が積極的な事業を実施するよう情報提供等の支援を行う。
(実施市町村数：77市町村)

② 事業内容 (単位：千円)

項目	実施方法	H25事業実績	H25		H26
			(当初)	(決算)	(当初)
手話通訳者設置事業	直営	県庁及び保健福祉事務所(長野を除く)に手話通訳業務嘱託員を設置する。	25,757	24,791	25,673
視覚障がい者総合支援事業	委託	身体障がい者補助犬給付(委託先：日本盲導犬協会、日本ライトハウス)、点字・声の広報等発行及び生活訓練事業(委託先：県視覚障害者福祉協会)	14,120	12,049	14,189
聴覚障がい者総合支援	委託	手話通訳者・要約筆記者養成(委託先：県聴覚障害者協会)、字幕入りビデオオカセットライブラリー(委託先：聴力障害者情報文化センター)、生活訓練事業(委託先：県聴覚障害者協会)	5,049	5,045	5,885
盲ろう者支援事業	委託	盲ろう者通訳・介助員派遣、盲ろう者通訳・介助員養成研修(委託先：県聴覚障害者協会)	1,792	1,792	2,354
音声機能障がい者発声訓練	委託	指導者養成、発声教室の開催及び指導者養成研修会の開催(委託先：信鈴会)	562	560	632
事務費	直営	上記事業に係る事務費	3,787	2,357	3,917
市町村地域生活支援事業	補助	市町村が行う地域生活支援事業について補助を行う。	297,369	312,448	314,446
国庫返還金	直接	H24国庫返還金	0	2,971	0
合計			348,436	362,013	367,096

区分(単位：千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越			
当初予算	368,071	352,496	348,436	367,096
補正予算	-21,410	6,815	18,094	0
合計(A)	346,661	359,311	366,530	367,096
国庫支出金	25,186	25,231	25,395	25,904
県債	0	0	0	0
その他(繰入金)	269	129	129	695
一般財源	321,206	333,951	341,006	340,497
決算額(B)	343,615	351,891	362,013	
概算人員費	3.00	3.00	1.20	1.20
概算人員費(C)	24,774	24,774	9,910	9,910
概算事業費(B(A)+C)	368,389	376,665	371,923	377,006

項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
手話通訳者設置数	10人	10人	10人	達成	10人
補助犬利用者数	26人	28人	26人	未達成	26人
盲ろう者支援事業利用者数	5人	6人	5人	未達成	6人
音声機能障がい者発声訓練参加者	1,882人	1,900人	1,735人	未達成	1,750
実施市町村数	77市町村	77市町村	77市町村	達成	77市町村

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者設置事業については、目標を達成した。 ・補助犬給付事業については、当初新規給付者を3人と見込んでいたが、うち2名の給付予定者の申請取下げにより1名のみの給付実績であった。平成26年度の目標変更(27人→26人)については、平成26年度中の新規給付者が予算編成時の見込よりも1名減になったことによる。 ・盲ろう者支援事業については、当初利用者を6人と見込んでいたが、新規利用者の申請に至らず、利用者は現状の5人であった。 ・音声機能障がい者発声訓練事業については、会員数の減少が参加者の減少につながった。なお、開講数については前年度と変化なし。 ・市町村事業については、全市町村で事業を実施した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、市町村とも連携協力しながら円滑に事業を実施し、障がい者の社会参加の促進を図っていきたい。